

第 17 回スポーツレクリエーション大会
兼 第 28 回クロスロードスポーツ・レクリエーション祭予選会

室内ペタンク（ニチレクボール）

☆☆実 施 要 項☆☆

1. 参加人員・構成

チーム編成は、1 チーム 3 ～ 6 人（年齢性別は問わない。）

2. 実施上の規則及び競技規則

（1）実施規則

- ①公益社団法人日本ペタンク・ブール連盟の現行「ペタンク競技規則」（平成 29 年 10 月新規則適用）を準用し、一部ローカルルールを設定する。
- ②コートは、4 m × 1 5 m とする。
- ③ビュットは、6 m ～ 1 0 m の設置範囲に置くものとする。
- ④対戦方式は、3 人対 3 人のトリプルス戦とし、1 人の持ち球は 2 個とする。

（2）競技方法

- ①試合は、5 メーヌ終了時の総得点で勝敗を決める。
- ②予選リーグ、決勝トーナメント戦により行う。
- ③各パートの順位は、勝率、得失点差、当該チームの対戦成績の順で決定する。
ただし、上位 2 チームの勝率が並んだ時は 1 メーヌの直接対戦とする。
（勝敗がつかなければ、勝敗がつくまで行う）
- ④1 メーヌの投球数は、1 人 2 投とする。

3. 表彰

上位 3 チームまでを表彰する。

※上位 5 チームをクロスロードスポーツ・レクリエーション祭の出場チームとする。

4. 参加上の注意

- （1）ユニホーム等の服装については、原則として定めない。
- （2）体育館シューズ（上ばき）をはくこと。

室内ペタンク競技規則

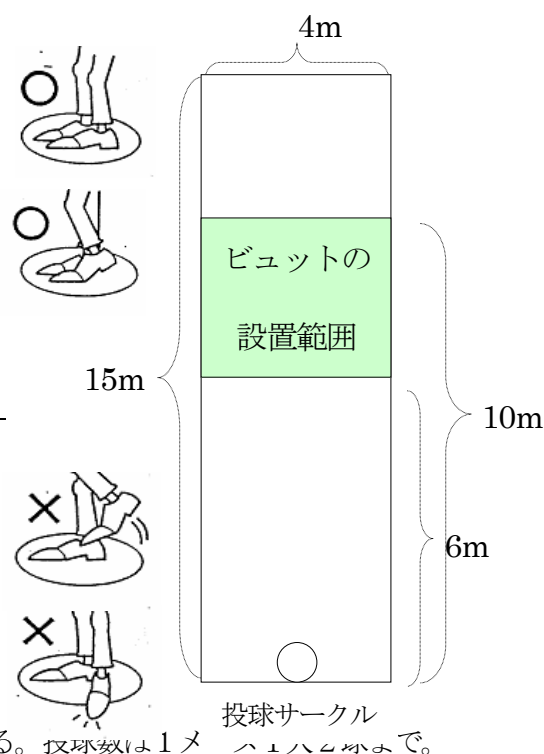
1. コートは、横 4m 縦 15m とする。
投球は、投球ライン中央のラインぎわに寄せた投球サークル内より行う。

2. まず、じゃんけんにより勝ったチームが、ビュットの設置及び最初の投球を行う。

ビュットの設置は、サークル内よりビュットの設置範囲に投げることで、チームに 1 回のみ与えられる。
それが有効でなかった場合、ビュット権は相手チームに移り、相手チームは規則に適合した任意の場所に置くこととする。

3. 投げ方は、投球サークル内で両足をそろえた状態で球を手のひらを下に向けて握り、その手を後方から前方に弾みをつけて投げる。

4. 最初の投球の後、相手チームが投げ、その後の投球は、ビュットから遠い球のチームが投げる。また、投げた球がコートの外に出た場合は、その球は無効とする。

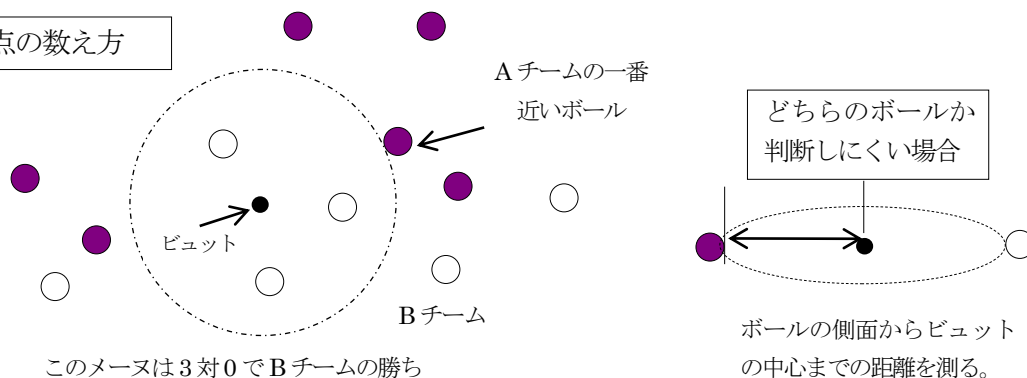


5. 一方のチームが、持ち球をすべて投げ終わると、もう一方のチームも残りの持ち球を投げます。両チームとも投げ終わると、第 1 メヌ(セット)が終了し、得点を数えます。

6. 勝敗は、ビュットに近い球のチームが勝ちとなり、得点はその相手チームのビュットにもっとも近い球の円内に勝ちチームの球がいくつあるかで得点が決まります。負けた方は 0 とする。

勝敗と得点の数え方

【例】



このメヌは 3 対 0 で B チームの勝ち

7. 試合は、5 メヌ行い、その総得点の多い方を勝ちとする。メヌの勝ち数ではないので注意すること。同点の場合は引き分けとする。

8. 両チーム投げ終わったところ、ビュットに両チームの球が同じように接していた場合は、そのメヌは 0 対 0 とする。

9. メヌ途中でビュットがコート外に出て無効となった場合、両チームに球が残っているか、または、まったく残っていない場合は、このメヌは、やり直しとする。一方のチームにしか残っていない場合は、その持ち球の数がそのチームの得点とする。

10. 投げそこなった場合の処理は、落下点が投球サークルより前の場合は投球とみなす。

(マナー)

投球時には、コート内に入らない。また、投球サークル内に入ったら静かにすること。

指定する練習コート以外では練習することは出来ません。もちろん、対戦中は練習できません。